

「名作文庫」通信



特集「詩歌」

2017年

秋号

下井草図書館おすすめの本

「名作文庫」に新しく入った本や図書館おすすめの本をご紹介します。
これまで目に留まらなかった作家や、興味ある本を見つけませんか。



ファンタステス

【著】G. マクドナルド 【訳】蜂谷 昭雄
【刊】ちくま文庫 【資料番号】1010820833

「私の想像力を回心させ、洗礼した」とナルニア物語の作者 C. S. ルイスに言わしめた英国モダン・ファンタジーの源流。青年アドノスは父の遺品の中から現れた美女に誘われ、妖精の世界へと旅立つ…。青年男女のための妖精物語。



夢みる権利

【著】ガストン・バシュラール 【訳】渋沢 孝輔
【刊】ちくま学芸文庫 【資料番号】1010827416

著者は科学的知識の獲得法について研究したフランスの科学哲学者だが、詩的想像力の研究についても功績を残している。本書はバシュラールの詩的考察をまとめた、科学と文学の融合哲学の世界が浮かび上がるエッセイ集。



イノック・アーデン

【著】テニスン 【訳】入江 直祐
【刊】岩波文庫 【資料番号】1011767363

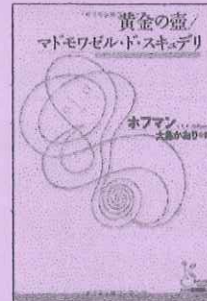
著者はワーズワースの後継者として名高い英国の詩人。幼馴染のアニイと結ばれたイノックは家族を養うべく水夫となり、遠く東方の航海へと乗り出す。だが順調だった航海が一転 嵐に遭遇して…イノックの数奇で悲劇的な運命を描く。漱石も絶賛した情緒あふれる不朽の物語詩。



ゴドーを待ちながら

【著】ヘサミュエル・ベケット 【訳】安堂 信也／高橋 康也
【刊】白水Uブックス 【資料番号】1011958772

とある田舎道と路傍に立つ一本。救済者ゴドーを待つ二人の浮浪者、通りかかる権力者やその従者、ゴドーからの伝言を届けに来る少年…。時間は錯綜し謎は深まる。ノーベル文学賞作家ベケットの描く不条理演劇の最高傑作。



黄金の壺 / マドモワゼル・ド・スキュデリ

【著】ホフマン 【訳】大島 かおり
【刊】光文社古典新訳文庫 【資料番号】1011660758

金緑色の美しい蛇と恋に落ちた大学生アンゼラムスの 12 夜物語。金細工師の病める魂とその救済を描くマドモワゼル・ド・スキュデリ。オペラ「ドン・ジョヴァンニ」の名解釈としても名高い「ドン・ファン」など 4 つの物語を収録。



マーカイトム・塚の小鬼

【著】スティーブヴァンソン 【訳】高松 雄一 高松 禎子
【刊】岩波文庫 【資料番号】1011811690

『宝島』の著者が手掛ける、ユーモア、寓話、奇譚の短編集。手に入ればあらゆる望みが叶うという「塚」をめぐる不思議な物語…。表題作「塚の小鬼」をはじめ、ハワイを舞台にした奇妙な物語「声たちの島」など 7 つの作品を収録。



夏目漱石論

【著】蓮實 重彦
【刊】講談社文芸文庫 【資料番号】1011934310

著者はフランス文学者であり映画評論家。第 26 代東大総長も務めた。本書では「横たわる漱石」「鏡と反復」など、独自の着眼点から様々な作品を解釈し、情緒的評価を排して「きわめて物質的な言葉の実践者」という新しい漱石像を提起した。70 年代を代表する画期的文芸評論。

特集「詩歌」

次第に深まってゆく秋の夕べ、古人の雅やかな心の詩に触れてみませんか？「名作文庫」に収蔵されている東西の詩人・歌人たちの作品をご紹介します。



月下の一群

【訳】堀口 大學

【刊】講談社文芸文庫 【資料番号】1010295887

ボードレール、ローランサンなど、フランスを代表する近代詩人66家の作品を雅趣あふれる日本語へと訳した名訳詩集。出版当初より多くの人に愛され、三好 達治、伊藤 整など現代詩の世界に多大な影響を及ぼした名品。



草野心平詩集

【編】入沢 康夫

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011943543

蛙の詩人として出発したデビュー作『第百階級』から『定本蛙』『絶景』『マンモスの牙』等をへて晩年の年次詩集に至る全詩集より精選した傑作を収録。視覚にも訴える独特の表現詩を多く残しており、日本近代詩に大きく貢献した。



ランボオ詩集

【訳】中原 中也

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011961073

フランス詩における古典的韻律詩を脱却し、わずか数年のうちに散文詩へと変貌をとげる大胆な変革をもたらした。そのランボオを中原中也翻訳で堪能する詩集。古典と近代的な表現が混在するランボオの詩の魅力と、中也の詩的センスが混然一体となった名作。

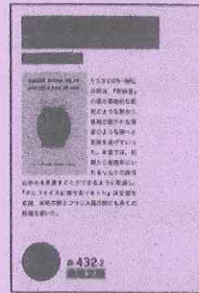


ハイネ詩集

【訳】片山 敏彦

【刊】新潮文庫 【資料番号】1012003693

第二次大戦中ユダヤ系ドイツ人という宿命を負い、祖国を愛し、自由と解放を求めながらも、亡命先のパリに客死した。朗らかさと明澄さに、放浪の悲哀、幻滅、皮肉が込められた詩の数々。ハイネの代表的詩集『歌の本』『新詩集』『物語詩集』から厳選した珠玉の作品集。



リルケ詩集

【訳】高安 国世

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011937354

ドイツ近代詩を代表する抒情詩人。彫刻のような初期の詩から、音楽のごとく軽やかな詩へと変貌を遂げた最晩年の作品まで、その変化を感じられる詩集。學生の大作とされる『オルフォイスに寄せるソネット』全篇も収録。



李白詩選

【編訳】松浦 友久

【刊】岩波文庫 【資料番号】1010428785

李白の詩約1000首の中から主要作品120首を精選。奔放にして繊細、中国文学史に燦然と輝く不滅の詩人・李白の詩を精読する詩集。著名な絶句・律詩・古体詩の他、賦・序を加え、李白の魅力を抑り下げる。



碧梧桐俳句集

【編】栗田 靖

【刊】岩波文庫 【資料番号】1011812441

高浜虚子と並び、正岡子規門下の双璧とされた近代俳句の巨匠。子規没後、明治期の俳壇を席卷し、改革と可能性を探究する多種多様な全句から2000句を精選。千変万化の自由律を確立した碧梧桐の魅力あふれる作品集。

あの人、あの一言。

名作にちりばめられた一文にふと気が付かされる。
そんな一場面をご紹介します。

陽気の所為で神も気違になる。

「人を屠りて餓えたる犬を救え」と雲の裡より叫ぶ声が、
逆しまに日本海を撼かして満州の果まで響き渡った時、
日人と露人ははっと応えて百里に余る一大屠場を朔北の
野に開いた。

夏目 漱石『趣味の遺伝』（新潮文庫『倫敦塔・幻影の盾』）

この一文より始まり、「雲の裡より叫ぶ声」によって「餓えたる犬」の
殺し合うような戦場を「怖い事だ」と空想する漱石。これは持論でも
ある「趣味の遺伝」という理論について書いた小説としながら、全篇に
わたって戦争の影が見える。謎の女性と遺族の思いを絡め、戦場は遠い
と思いつつ、現実を感じる不安が忍びやかに描かれる。

「名作文庫」で読める夏目 漱石の作品

- ◇ 行人【刊】集英社文庫 【資料番号】1012082135
- ◇ 門 【刊】新潮文庫 【資料番号】1011547815
- ◇ 彼岸過迄【刊】新潮文庫 【資料番号】1011766977
- ◇ 吾輩は猫である【刊】岩波文庫 【資料番号】1011546353
- ◇ 明 暗【刊】集英社文庫 【資料番号】1012092944

…他

夏目 漱石（なつめ そうせき）

1867年2月9日（慶應3年1月5日）～1916年（大正5年）12月9日
江戸馬場下横町（現東京都新宿区喜久井町）生まれ。本名は 夏目 金之助。

明治の文豪として今も愛される日本を代表する文学作家。幼少期は家
庭の事情から様々な家の里子・養子となり、学校も転々としながら大学
予備門を経て特待生として東京帝国大学英文学科へ入学。大学予備
門では、後に様々な影響を受ける事となる正岡子規との出会いもありま
した。学費などを工面するため10代の頃から様々な場所で教師を務め
ていましたが、大学卒業後も愛媛県や熊本県の学校教師として赴任し
ています。

明治33年（1900年）文部省より英文学研究のため英国留学を命じら
れ渡英。帰国後小泉八雲の後任として東京帝国大学英文科講師と
なりますが、漱石の講義は学生の人気を得られず、神経衰弱を再発
するなど心身ともに追いつめられます。この時高浜虚子の勧めで小
説を書き始め、明治38年「吾輩は猫である」を発表しました。これを
きっかけに続々と作品を上梓し、明治40年ついに大学を辞めて朝日
新聞社へ入社。作家として生きることを決意します。以降、絶筆とな
った「明暗」まで数多くの作品を残しました。





下井草図書館だけにある特別な本棚、「名作文庫」。

一度は読んでおきたい古今東西の名著名作を
ハンディなサイズの文庫版・新書版で集めた本棚です。
同じ作者の同じ作品がいろいろな本で揃っているので、

1冊ごとに違う解説、違う注釈、違う翻訳に
触れることができます。

題名だけしか聞いたことなかったあの作品、
いまこそ手にとってご覧になりませんか？

実は「名作文庫」の一部は保存庫に収められています。

でも『名作文庫 蔵書紹介』を見れば大丈夫！

保存庫の本のこともバッチリ載っています。

読みおわって熱い感動を誰かに語りたい…と思ったら、
『いまこそ名作！読書会』にその思いを投稿しましょう。

1階名作文庫コーナーに投稿用紙をご用意しております。
ご意見・ご希望などもございましたらぜひお寄せください。

季刊名作文庫通信

3・6・9・12月発行

下井草図書館